

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東浦町中央図書館協議会	
開 催 日 時	令和6年3月22日(金) 午後3時から午後4時45分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館2階 大会議室	
出 席 者	委員等	杉浦恵子氏、成田幸治氏、浅井真司氏、松橋秀親氏、小田薫氏、橋本記江氏、西村加絵氏、月原康雄氏
	事務局 (生涯学習課、株式会社図書館流通センター)	横井教育部長、佐東生涯学習課長、関課長補佐、長谷川主事、島津図書館長、大西副館長、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 令和5年度事業報告について(資料1) (公開) 2 令和6年度事業計画(案)について(資料2) (公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容	<p>◆図書館長 資料確認を行う。 会議の成立について報告する。</p> <p>次第に従って会を進める。</p> <p>◆教育部長 (挨拶)</p> <p>◆委員長 (挨拶)</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題1「令和5年度事業報告について」を議題として、事務局からの説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料1にもとづき、令和5年度事業報告について説明する。</p> <p>◇委員長 図書館副館長の報告を受けて、委員の質疑を募る。</p>	

◇委員

マードーミステリーのイベントは、大学でも本離れが激しいのでとても良いイベントだと思う。実際にはどれくらいの参加があったのか。具体的に知りたい。

◆事務局

実際の参加者はゲーム参加者7名、観覧23名。募集人数と同数である。ゲーム参加者からは後日、図書館に手紙やメールなどで当日の感想やアドバイスを頂くなど、特にミステリーのジャンルやマードーミステリーというゲーム自体に興味がある方の反響が大きかった。参加者の中には、イベントの参加を決めてから、作家越尾圭さん(当イベントのシナリオ監修・ゲームマスター)の著書を読んだという人もおり、読書活動にも繋がったイベントになった。

◇委員

きっかけづくりに良いと思う。

◇委員

児童館でも、中学生の来館者を増やすための試みとしてボードゲームはどうだろうかという話をしていた。どのように行ったのか。ゲームそのものがないと開催は難しいか。

◆事務局

全員で同じゲームを同時に行うというのはやはり難しく、人数が集まったタイミングでグループごとにゲームをはじめた。世代間交流を目的としているが、家族単位で固まってしまうとなかなか横のつながりの交流が難しかった。ゲームについては、協力を依頼したボランティアつばめのすが所有しているものも持ち寄ってもらったりした。課題はあるが、つばめのすから、いつもよりもたくさんの人に参加してもらったという声があり、良い試みであったと思う。参加を期待している中高生の呼び込みについては、確かに中学生の参加者もいたが、小学校高学年が多く、図書館でも難しい部分がある。

◇委員

協力を依頼したボランティアについて、どのような団体に来てもらったのか。

◆事務局

なないろ所属のボランティア団体である。

◇副委員長

ボランティアつばめのすは、東浦町の団体か。

◆事務局

東浦町総合ボランティアセンターなないろ所属の団体。
普段はグリーンラソで活動しているようである。今後も連携していけたら
と思っている。

◇副委員長

ぜひこれからも協力して連携してもらいたい。

◇委員長

様々な新しいことを図書館に挑戦してもらっていると感じた。イベントを
きっかけとした読書に繋がると良いと思うので、イベントでは本の紹介も
してみたいか。

◆事務局

イベントでは時間の都合もあり難しいことも多いが、そのような場合は、
館内展示や掲示などで関連書籍を紹介している。
ご意見は参考にさせていただきたい。

◇委員

居場所づくり事業について、ひきこもりの方、外国人の方等との記載があ
るが、どのような層の利用をイメージしているのか。
令和5年度の事業報告でリフレッシュを目的とした学生の利用が多いとい
う説明があったが、居場所という本来の想定している目的とは離れている
ように思えた。現状はどうであるか。

◆事務局

家族や学校、職場などには居場所のない方に利用してほしいと思っている。
個人的な意見ではあるが、居場所利用者は若い層のイメージではある。
現状、学習席を利用する学生の休憩の場となっていることが多い。このよ
うな場所があると周知していくことが肝要であると思う。
また、夏休み期間は行き場のない子どもたちが友だち同士で集まる場所にな
っている。居場所として使いたい層が入りづらいとは思いますが、図書館側
でも室内の様子を注視しており、穏やかに過ごせる空間であることを心掛
けている。

◇委員

電子図書館について、中学校は朝からタブレットを使用することができる
ため朝の読書に使用しているようだ。小学校は、必要な時にだけタブレッ
トを出すという運用をしているため、担任の力量によるところがある。
現場の教員たちに電子図書館について聞いてみると、予想以上に活用して
いるという印象を受けた。その中で、授業等でも使えるよう同じ本を複数
人が同時に読めるようにしてほしいという意見が教員からあった。
読み放題パック(通常1冊の電子書籍につき1人しか閲覧できないが、読み
放題パックの場合、複数人が1冊の電子書籍を同時に閲覧することが可能)
が新たに追加されるということは嬉しく思う。

◆事務局

読み放題パックは、子どもたちから人気の高い図鑑と朝読書や授業の単元で使えるものを考えているのでぜひ活用してもらいたい。
追加したパックについては、4月に学校に案内する予定である。

◇委員長

電子図書館は、子どもたちがタブレットで図書館の本を読むことができるということか。

◆事務局

図書館に所蔵している紙の本を電子化したものではなく、電子図書館用に購入した電子書籍約1,500冊を読むことができる。
家が図書館から遠く、図書館への来館が難しい子たちも図書館に触れてもらいたいと思う。

◇副委員長

タブレットに電子図書館のIDがついているということか。卒業した6年生が使っていたタブレットをそのまま新1年生が使用するということか。

◆事務局

タブレットに対して電子図書館のIDを付与しているが、タブレットそのものと言うよりは生徒がタブレットを使用する際に使用している個人のGoogleアカウントに紐づけている。

◇生涯学習課長

タブレットは入学時に貸与されてから6年生まで同じものを使い続ける。
タブレットは卒業時に初期化し、新1年生にはタブレットの配布時に新たなIDを配付するものである。

◇委員

電子図書館の使い方を学校の先生に対し図書館が講座を行い、先生から児童たちへ伝えてもらうという説明があったが、先生方の働き方について見直しが行われている現状を踏まえると負担ではないか。

◆事務局

マニュアルを配付してはいるものの、マニュアルでは伝わりにくい行間の部分を要望があれば先生に伝えていきたいと思っている。人員の都合で、各校へ図書館職員が訪問し、児童・生徒向けに講座を行うことは困難である。先生方が多忙であることは重々承知しているので、例えば講座内容を動画等にするなど、先生方の負担の少ない形を考えたい。

◇委員長

こどもホームページには児童の特集展示など、本が紹介されているのか

◆事務局

現状、定期的な更新ができていない。コンテンツを充実させていきたいと思っているので、来年度からの参考にさせていただきたい。

◇委員

図書館が年々活発になり、楽しいものになっている印象がある。広報にキッチンカーが掲載されていた。とても楽しいことだと思う。子どもたちも楽しみにしている。常にあることで、年代を超えた層を呼べ、一つの施設として全員が楽しく参加できるものだと思う。キッチンカーについてくわしく知りたい。

◇生涯学習課長

厳密に言えば、飲み物と軽食を提供する移動カフェである。これはかつて図書館の企画でカフェ&ミュージックプロジェクトという試みがあり、直営時代に始めたものである。数年間に渡り、月に1回出店していたが今まで出店してくれていた方の都合により中止となり、ここ2年ほど毎年出店者の募集をかけていたが、応募者がなかった状況である。来年度は新しい業者の応募があり、今年度の4月から月1回の頻度で出店してもらおう予定であるため、期待してもらいたい。

◇委員

イベントのある日以外にもキッチンカーの出店があると嬉しいと思う。期待したい。

◇生涯学習課長

役場にもキッチンカーが来ている。現在は職員向けだが、徐々に利用者にも広がっていき、公共施設にもキッチンカーが入っていけたら良いと思う。

◇委員

役場のキッチンカーのような扱いができれば飲み物と軽食以外のものを図書館でも提供できるのではないかな。
事業ではなく個人でのキッチンカーであれば出店者に心当たりがあるが。

◇生涯学習課長

ぜひ紹介していただきたい。

◇委員長

食べるのであれば、もぐらびコーナー(飲食スペース)ということか。

◇生涯学習課長

飲み物は出店時のみ館内全体とするが、食事についてはもぐらびコーナーを想定している。提供する予定のメニューにチュロスがあるため、砂糖が落ちやすいということを考えると、本と一緒にというのは難しいため、もぐらびコーナーや天候が良い日は隣接する公園で楽しんでもらえたらと思う。

- ◇委員長
・議題1について締め切り、議題2「令和6年度事業計画」について、事務局へ説明を求める。
- ◆事務局
・議題2「令和6年度事業計画」について図書館長から説明。
- ◇委員長
図書館長の報告を受けて、委員の質疑を募る。
- ◇委員
居場所を実際に見て来たが、とても良い場所なのに利用者数が少ないと感じた。
児童館には一般開放で遊びに来る子どもが多いので、もっとたくさんの子どもに周知活動をしていただければ居場所を使ってもらえるのではないかと。
- ◆事務局
施設を介して紹介してもらったり案内を置いてもらえたりしたら、認知が上がるのではないだろうか。SNSでの広報も検討したい。
関連する機関などに協力を依頼し、本来の目的で使用したい層に対しての働きかけができればよいと思う。
- ◇副委員長
ICタグが24年度で完結しているが、図書館のほとんどの本に貼付ができるということか
- ◆事務局
視聴覚資料含め、館外に貸出見込みある資料すべてに貼付が完了する。
- ◇副委員長
であれば、店舗のように、防犯ゲートを設置することができるのか。
- ◆事務局
次期指定管理機関で提案として盛り込む予定である。
- ◇副委員長
毎年不明資料が少なからず発生する点からも、盗難防止につながるのでぜひ検討してもらいたい。
- ◆事務局
極端な例ではあるが、防犯ゲートのある図書館で窓から本を投げて、無断で持ち出す事例があった。挙げた例はごく稀なケースではあるが、全般的なマナーアップキャンペーンを実施するなど、利用者のマナー向上の案内をできたらと思っている。

◇委員

バリアフリーとあるが、図書館で今まで実施していなかったのが重点的にするという話だと思うが、他にもバリアフリー化に対応しているのか。今回の計画によって、図書館の認識としてはバリアフリー法をクリアしていることになるのか。

◆図書館長

今年度ディスレクシア向けのルーラーをカウンターに配備した。老眼鏡と拡大鏡は従来から整備している。電子図書館も、文字の拡大や読み上げ機能の点からバリアフリーであると言える。少しずつ体制を整えていく予定である。

◆事務局

補足すると、障がい者向けのサービスとしては配送サービスが既にある。郵送貸出は視覚障がい者に向けたサービス増強と考えていただきたい。第4種郵便は点字資料・録音図書が対象となるが、媒体としては数が少ないので、ゆくゆくはサピエ図書館への登録など、体制を整えてサービスの幅を広げていきたいと考えている。今回は下準備だと考えてもらいたい。

◇委員

幅広い利用者が利用できるサービスの提供に取り組んでももらいたい

◇委員長

議題2についての質疑を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆図書館長

委員の任期は令和6年5月31日までであり、会議としては今回の会議が今期の最後の会議となる。
次年度も引き続き図書館協議会委員として参加していただきご意見を賜りたい。

◆事務局

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣言。
挨拶を行い、会議の終了を宣言する。